

新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお祈りいたします。

本年もいろいろな情報をドンドン発信しますので
どうぞよろしくお祈りいたします。

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載
しています。



- 1 全酪新報 1月1日号 全国酪農協会
第19回繁殖改善で経営向上「牛群検定活用しよう」渡邊 徹 家畜改良アドバイザー
授精は早くても遅くてもダメ 卵子に影響、受胎率は低下
- 2 デーリイマン 1月号 デーリイマン社
牛群検定の読み方(その4)
検定牛割合はオランダやデンマークなどEUで高い
- 3 LIAJニュース11月号 (一社)家畜改良事業団
①新しい牛群検定成績表について(その81)
脂肪酸組成 (FAO)
あたらしい乳成分値である脂肪酸組成の活用法
②牛群検定ビッグデータ(その24)
産次別の305日乳量

[検定成績表見方](#) [検索](#)

牛群検定の研修会を開催します。

以下のように、牛群検定研修会を開催します。参加希望の場合は、最寄りの検定組合または、当団に連絡
ください。toiawase@liaj.or.jp T03-5621-8921 一般社団法人家畜改良事業団 情報分析センター

日時と場所 2月20日(月)13:30～
東京都中央区日本橋茅場町1-6-1
日幸茅場町ビル7F(TKPスター貸会議室)

3月2日(木)13:30～
福岡県福岡市博多区博多駅前4-9-2
八百治博多ホテル

- ①ゲノミック評価の活用について(仮)
独立行政法人家畜改良センター改良部情報分析課 乳用牛データベース係長 大澤 剛史 氏
- ②新しい乳成分測定値(脂肪酸組成)を活用した指導事例(仮)
大山乳業農業協同組合酪農指導部 指導次長 今吉 正登 氏

お試し検定にご参加下さい。



これから牛群検定に参加しようと考えている農家のみなさんに朗報です。
検定にかかる費用を無料とする乳用牛改良対策事業(通称:お試し検定)を
ご利用下さい。この事業は牛群検定の普及拡大を目的に、家畜改良事業団
が実施するもので、牛群検定の6カ月間の検定経費を補助します。詳しくは
検定組合にお問い合わせ下さい。

牛群検定！点検シート（その57 冬季の検定成績表）

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、これを機会に検定員といっしょに確認を行いましょ！今回は、冬季に注意しなければならない事項のチェックです。

農家コード _____ 氏名 _____

1) 図1は、検定成績表の2枚目です。乳量の欄に矢印①のように▽▼マークがタテに沢山並んでいませんか？

Yes No

→Yes 冬から春にかけては、乳量をもっとも伸びる時期です。この時期に一斉乳量減少は最も避けなければならぬ大きなトラブルです。

2) 図2は、検定成績表の1枚目中央です。体細胞数情報において矢印②のように冬季の体細胞数が高くありませんか？

Yes No

→Yes 一般に冬季の体細胞数は低くなります。もし、逆に高くなるようでしたら、何らかのトラブルです。

図1

牛 コード	乳 量 (kg)					
	今 月			標 準 乳 量	前月	前々月
	1回	2回	合計			
0121	9.0	12.0	21.0	24.4	23.0	23.2
0017	17.2	10.4	▼27.6	34.6	34.6	37.8
0063	12.4	8.4	▼20.8	34.3	24.2	▼25.6
0120	6.0	8.0	▼14.0	35.8	26.6	24.0
0106	11.0	13.5	24.6	27.9	▼24.0	28.0
0003	14.0	15.0	▼29.0	32.9	35.0	▼37.4
0119	15.0	9.5	▼24.6	30.3	30.8	31.4
0118	14.0	10.0	▼24.0	29.6	31.0	30.0
0093	10.0	18.0	28.0	35.2	22.6	23.0
0074	8.0	8.0	▼16.0	22.7	▼20.0	22.4
0031	14.6	13.4	▼28.0	36.7	36.0	39.2
0098	13.0	12.8	25.8	36.2	26.8	29.0

全頭一斉に乳量が下がった場合は、まずは搾乳機器を点検して下さい。冬は機械に不具合が発生しやすく、真空圧の確認が必要です。飲水も確認しましょう。水道管の凍結も要注意です。

飼料も水分が多いとシャーベット状になり、冷たい水と重なり下痢や栄養不足の原因となります。また、図2のような冬季の乳房炎が蔓延しても一斉に乳量を落とす原因となります。

冬季は乾燥しやすいことから寒さに強い乳牛でも、感冒（風邪）が牛舎内で流行することがあります。この場合は、子牛に感染すると肺炎を起こします。早めに獣医師に相談してください。

図2

移動 13ヵ月 成績	体 細 胞 数 情 報							
	体細胞数 平均	搾乳牛頭数比率			千/ml 新規 頭数	乳量損失率 (%)	損失代 (円当り)	千円
		70 以下	71~ 282	283 以上				
検定年月日	千/ml	%	%	%	%	%	%	千円
24.10.26	146(3.0)	36	51	13	6	5	2	157
24.11.22	181(3.2)	32	47	21	12	11	2	166
24.12.21	165(3.1)	35	50	15	9	8	2	154
25.01.24	301(3.4)	29	47	24	11	9	2	161
25.02.22	426(3.9)	25	41	34	8	12	2	274
25.03.26	423(3.4)	25	49	36	5	9	2	216
25.04.24	189(3.1)	31	53	16	6	6	2	154
25.05.28	176(3.1)	38	46	16	7	7	2	145
25.06.18	149(3.0)	40	42	18	7	6	2	122
25.07.24	229(3.3)	34	43	24	11	9	2	143
25.08.26	217(3.2)	31	53	16	4	3	2	161
25.09.24	238(3.2)	36	45	19	8	7	2	172
25.10.23	238(3.1)	38	46	15	6	6	2	195
平均・計	203(3.2)	33	49	18	8	7	2	1894
前年成績	211(3.1)	37	47	16	6	5	2	1677

乳頭が、ヒビやアカギレで荒れていませんか？搾乳時に乳頭をチェックして下さい。乾燥した冷たい寒風が、乳頭に直に当たらないようにしましょう。やや高価ですが保湿剤入りディッピング剤も販売されています。

